



中野香余
自民党市議団

鳥獣害対策について

問 有害鳥獣捕獲数の推移を伺う。

答 イノシシは豚熱の影響で一時減少したが、令和3年度以降は再び増加している。特に二ホンジカは近年増加しているため、対策を強化していく必要がある。

問 今後の対策における新しい取組を伺う。

答 捕獲従事者の負担軽減のためICT等の技術導入を予定している。設置した罠が作動した場合に通知メールが届く機器を25台導入する予定である。

野犬対策について

問 本市の野犬の状況を伺う。

答 捕獲数は平成27年度をピークに年々減少し、近年は30頭前後で

推移しているが、毎年各地域から出没情報が寄せられている。

問 対策における県や市の役割を伺う。

答 本市の野犬捕獲は愛知県動物愛護センター東三河支所が担っている。市は、野犬出没情報の窓口となり、県への捕獲依頼など市民生活の安全を確保する業務を担っている。

問 市民への周知について伺う。

答 広報がまごおり等で定期的に注意喚起を行っている。引き続き、市ホームページで野犬対策を周知するとともに、遺棄の防止、適正飼養や譲渡の取組などを呼びかけていきたい。



捕獲されたイノシシ



日恵野佳代
無会派・日本共産党

市民も観光客も快適なまちづくり

問 公共施設や公衆トイレなどの暖房便座と温水洗浄便座の設置状況と改修予定を伺う。

答 市内の鉄道駅には、4つの公衆トイレがあり、蒲郡駅西高架下トイレルの女性用には暖房及び温水洗浄便座が設置されている。その他未設置箇所には、次年度以降早期の設置を図っていききたい。また、公民館や生命の海科学館などは概ね設置しているが、未設置箇所には、各施設内のトイレの利用頻度や配置状況、設備上の問題などを整理し、来年度以降順次改善していききたい。

問 公共駐車場の新紙幣対応について伺う。

答 現時点では新紙幣への対応はできておらず、12月中旬に対応予

定である。また、交通系電子マネーやクレジットカード決済への対応は、駐車料金システム全体を更新する際に考えていきたい。

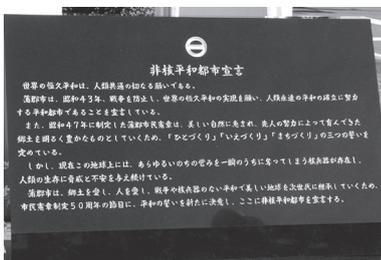
蒲郡駅のベンチの設置について伺う。

問 ベンチ設置については、コンコース管理者であるJR東海と協議していききたい。

問 日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和受賞の意義について伺う。

答 受賞は、一人一人が平和について考える大きなきっかけになるものと考えている。

問 核兵器のない平和な世界の実現のために



非核平和都市宣言記念碑



大須賀 林
自民党市議団

名鉄西尾・蒲郡線の存続について

問 名鉄西尾・蒲郡線対策協議会の中で、上下分離方式を検討と報道があった。上下分離とはどこを分けるのか。

答 自治体等が土地や線路等の鉄道資産の「下」の部分保有し、鉄道運行の「上」の部分は鉄道事業者が行う。鉄道事業者のどこまでが「上」・「下」かは自治体と鉄道事業者で協議して決定することとなる。

問 みなし上下分離とどのようなものか。

答 実際には自治体が鉄道の資産の保有をせず、対象区間の鉄道施設の整備及び維持管理の費用を自治体が責任をもって負担し、実質的に上下分離した場合と同様の効果を実現する方式を指す。

問 鉄道存続に向けて、上下分離、みなし上下分離は、どのようなメリットがあるのか。

答 いずれの方式にしても、鉄道施設の費用を自治体が責任を持って負担することで持続可能な運行形態として路線の長期的な存続が可能になると考えられる。名鉄西尾蒲郡線区の検討会では、上下分離、みなし上下分離に加え、バス転換なども加えた様々な事業パターンを想定して調査を進めているが、鉄道路線の存続を前提としつつ、現実的な運行方針が決定できるよう、西尾市とともに名鉄と協議を進めていきたい。



名鉄西尾・蒲郡線